

寒川文書館だより

Vol. 27



寒川駅前店舗のマッチ箱
(当館蔵「三枝惣治氏マッチラベルコレクション」より)

■ 第27号目次 ■

資料紹介「寒川駅前店舗の広告マッチ」	2
企画展「県営住宅と岡田遺跡」	3
資料保存ワークショップ	4
文書館最近のできごと	5
全国歴史資料保存利用機関連絡協議会	7

第27号
2020.3.31
寒川文書館

<資料紹介> 寒川駅前店舗の広告マッチ

(当館蔵「三枝惣治氏マッチラベルコレクション」より)

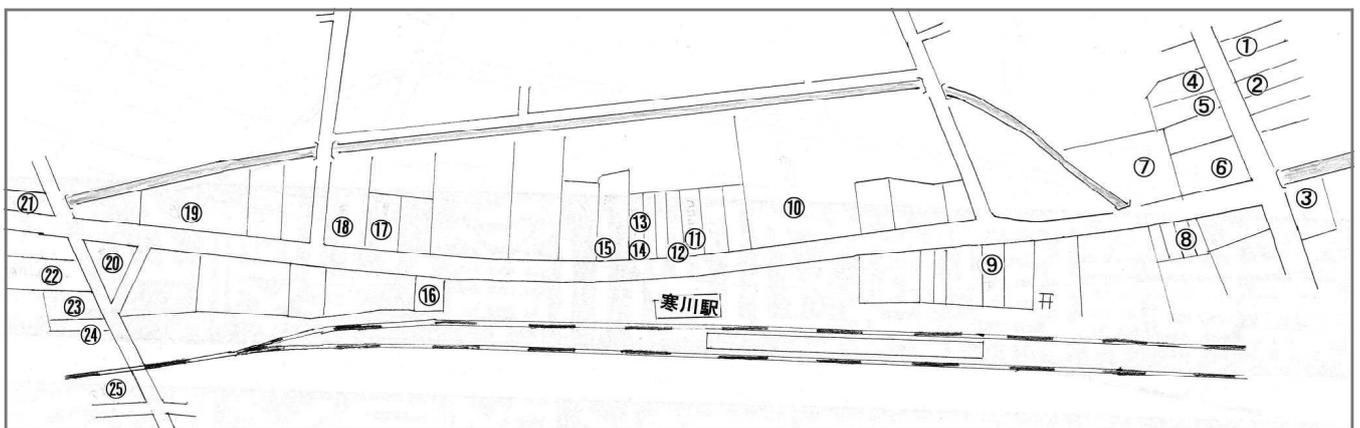
表紙の絵柄は寒川駅前にあった商店等が広告のために制作したマッチ箱である。昭和32年(1957)から59年にかけて顧客等に配布されたもので、当館蔵「三枝惣治氏マッチラベルコレクション」から抜粋した。

岡田在住だった三枝惣治さん(1916~1989)が昭和30~50年代に個人で全国のマッチ箱を収集したもので、総数は約6,500点に及ぶ。マッチ箱は丁寧に切り開き、収集年ごとに28冊のアルバムに貼付されているが、収集した年が明確にわかることがこの資料の最大の特徴である。当館では平成29年度から3か年にわたり公益財団法人図書館振興財団の助成を受け、この資料のデジタルアーカイ

ブ化を進めており、このほど全面公開となった。

この中で寒川駅前の店舗のマッチは25店舗、73点を確認できる。各店舗のマッチの収集年代と位置は下の図表のとおりである。寒川駅北口地区土地区画整理事業は昭和53年に着手され、平成30年に竣工した。これにより道路や街区は一変。下図のような街並みはすっかり様変わりし、現在も同じ位置で営業を続けている店舗はごくわずかとなった。区画整理前の地域の様子を伝える資料としては住宅地図や風景写真などもあるが、このマッチは往時の営業の様子を垣間見ることができる貴重な資料といえる。このコレクションは地域の歴史資料として多様な可能性を秘めているので、広く活用されることを期待したい。(高木秀彰)

1	カハイ美容室	S40, 41	14	光陽	S53, 57
2	鈴木屋	S36	15	湘南テラー・えきまえ	S34, 35, 46
4	大黒屋	S33	17	さみっと	S53
5	八百長	S36, 38, 47	18	露木種苗店	S33
6	大久保油店	S32, 33, 36, 38, 39, 40	19	さがみスター	S35
7	大久保自転車店	S32, 34	20	茅ヶ崎信用金庫	S46
8	越後屋	S53	21	エミ美容室	S35
9	鯨正	S39, 40, 41, 42, 43	22	ほりむら薬局	S32, 33, 35, 36, 39, 40, 44, 46
10	寒川町農協	S35, 36, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 46, 47, 50, 57	23	大黒庵支店	S39, 40
11	養老乃瀧	S59	24	タンポポ	S40, 42
12	魚重	S37, 38	25	さがみや	S46
13	中むら	S32, 33, 36			



県営住宅と岡田遺跡

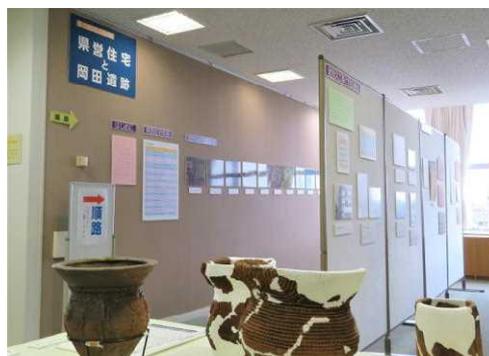
岡田の菅谷神社の周辺に建ち並ぶ県営住宅は、ちょうど60年前の昭和34年(1959)から建設が始まり、少しずつ拡張されていきました。また、昭和56年度から始まった大規模な建て替え工事に伴い岡田遺跡の発掘調査が行われた結果、わが国でも有数の縄文時代の大集落が見つかり、注目を集めています。

この展示では、文化財学習センターとの共催で、県営住宅の60年の歴史を公文書や写真などで振り返るとともに、同センターが所蔵する岡田遺跡から実際に出土した土器や石器などの遺物を並べました。

【会 期】 令和元年10月19日(土)～12月28日(土)

<展示構成>

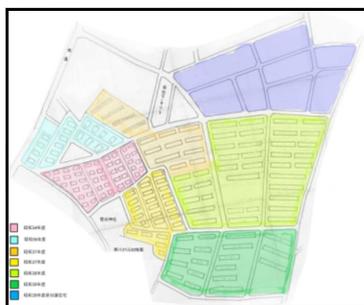
- 空から見る県営住宅
- 県の住宅施策と寒川住宅
- 写真に見る過ぎし日々
- 建て替え工事と岡田遺跡
- 岡田遺跡の発掘
- 遺物の展示



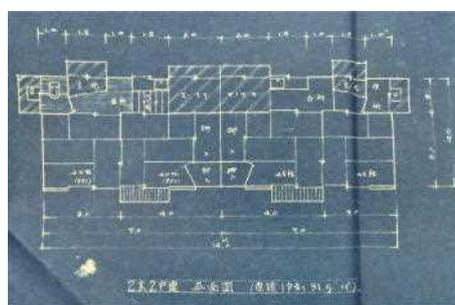
会場の様子



1964年の空中写真



拡張のようす



木造2戸建ての間取り



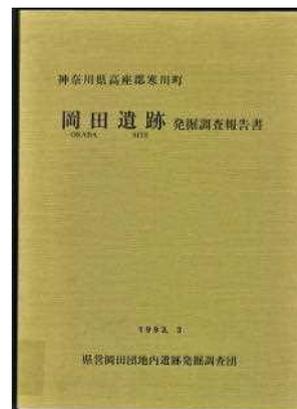
第1期住宅(1959年)



自治会の敬老会



発掘現場説明会



発掘調査報告書

資料保存ワークショップ

錆や傷みから記録を守る

令和2年2月1日（土）、（株）資料保存機材の伊藤美樹さんを講師に迎え 資料保存のワークショップを開催しました。冊子の綴じに使用されている金属製留め具はやがて腐食し、資料の汚損や破損を招くため除去する必要があります。今回のテーマは「錆や傷みから記録を守る」です。参加者の皆さんとサンプルの冊子を使って、冊子の金属製留め具の除去と綴じ直し、紙の破れの補修など簡易的な処置を体験しました。当館が収蔵する公文書にもホッチキスの針などの金属類が使用されているので、たいへん参考になりました。

冊子の補修



ニッパーで金属製留め具を除去する



麻糸と針で綴じ直す

紙の破れの補修



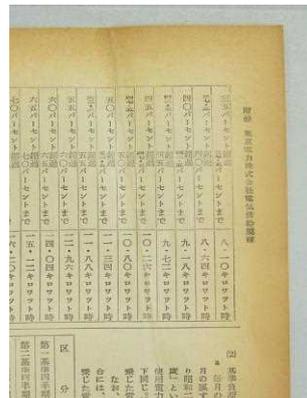
水で溶いたでんぷん糊を破れた断面に筆で塗り、破れを接着する



不織紙と濾紙を重ね、重しをのせて乾燥させる



極薄の和紙を带状にカットし、接着部分に載せ補強する



補修後の資料

最近のできごと 2019,10,1-2020,3,31

第26回ミニ展示「子年のできごと」 1/7-3/31



寒川町警察が発足(昭和23年=1948)

今年の干支は子(ねずみ)です。当館保管の公文書や写真などから、過去の子年の町の事業やできごとを振り返りました。

ちなみに干支をテーマとした展示はこれで10回目となります。あと2回(丑・寅)の開催で干支が一回りします。

インターネットラジオ 1/8



インターネットラジオ「湘南さむかわラジオ」で放送される「Sam Sweet」にレギュラー出演することになりました。

放送日は毎月第2・第4水曜の午前11時30分から。コーナーのタイトルは「寒川あの日あの時」です。

旭が丘中学校職場訪問 1/21



旭が丘中学校1年生の6名が職場訪問のために来館。地域の職場を訪れ、働く意義を学ぶという趣旨の授業の一環でした。

学生からは「仕事のやり甲斐」「大切にしていること」「この業種を目指した理由」などの質問がなされました。

北部公民館講座「寒川を知ろう」 1/23



北部公民館主催の講座に出講しました。寒川村の成り立ちから、特産品誕生の歴史などをもとに郷土のあゆみを紹介。また当館の役割や、館内案内を通して、アーカイブズへの理解も深めていただきました。

地域資料交換会

1/24



地域資料交換会は、神奈川県立図書館が実施する事業の一つです。

県内の資料保存機関が自館で受け入れない刊行物を持ち寄り、必要なものを持ち帰るといったもの。毎年、関係者限定で開催されます。館蔵資料の充実には欠かせない行事です。

公文書の評価選別作業

3/2 - 3/13



今年度末で保存期限満了となる公文書のなかから歴史的に重要なものを選別しました。

今回は、平成21年度(10年保存-52箱)・平成26年度(5年保存-163箱)・平成28年度(3年保存-81箱)が対象でした。文書館職員が1点1点現物を確認しながら実施。文書館の基幹業務のひとつです。

デジタルアーカイブ

3/26



三枝惣治氏マッチコレクションの県外店舗分の公開を開始しました。平成30年12月1日より県内の店舗を先行公開してきましたが、この第2弾の公開で完結となります。

平成29年度より(公財)図書館振興財団の助成を受けて進めてきた「マッチラベルコレクションのデジタル化・公開事業」も、これで完了となりました。

『町史研究』31号

3/31



本号では「広報にみる昭和と平成」という特集を組みました。今年は寒川町の広報紙が創刊してから70年。この節目の年に広報紙の有用性を改めて考えました。特集には講演録や展示記録、資料紹介を掲載しています。

B5版／75頁／500円(税込)

全史料協とは？



- ➡ 正式名称は**全国歴史資料保存利用機関連絡協議会**
- ➡ 1976年(昭和51年)に発足しました。会員は、文書記録を中心とする**記録史料を保存し、利用に供している機関会員**と、この会の目的に賛同する**個人会員**で構成されます。
 - 機関会員138●個人会員292(令和2年1月末日)
- ➡ 会員相互の連絡と連携をはかり、研究協議を通じて**記録史料の保存利用活動の振興**に寄与することを目的とします。

令和元年度の主な活動

役員会

5月23日・2月14日



寒川総合図書館で、会の年度計画などを審議する役員会を2回開催しました。

総会

6月5日



学習院創立百周年記念会館において、令和元年度総会および特別講演会(講師:高埜利彦氏)を開催しました。84名の参加者を得ました。

全国(安曇野)大会

11月14・15日



長野県安曇野市で全国大会を開催しました。テーマは「文書館をつくる～市町村が拓くアーカイブズ活動～」。258名の参加者を得ました。

全史料協の活動について



その他にも様々な活動をしております。詳細は全史料協のホームページをご覧ください。

<http://jsai.jp/index.html>

今後の事業予定

■令和2年度の行事予定

○古文書講座「江戸時代の宮山村を読み解く」

宮山に伝来した資料をテキストに、江戸時代から明治維新期にかけての人びとの生活や社会について学びます。

日程：5月30日・6月27日・7月25日・8月22日
9月26日・10月17日（全6回）

時間：13時30分～15時30分

会場：寒川総合図書館会議室

申込：広報5月号・当館HPをご覧ください。

○茅ヶ崎市寒川町広域連携事業

企画展「国勢調査100年(仮)」

本年は国の重要な統計調査である国勢調査が実施されます。そこで連携事業による展示第5弾は、国勢調査をテーマに据え、その歴史を紐解きます。

会期：令和2年6月27日～7月31日

場所：文書館展示コーナー

○企画展「町制施行80周年(仮)」

寒川町は昭和15年11月1日に町制を施行しました。今年には町制施行から80年目を迎えます。この節目の年に町のあゆみを振り返ります。

会期：令和2年10月17日～12月27日

場所：文書館展示コーナー

※他に町制80周年に関連した講演会の開催や、記念誌の発行などを予定しております。詳細が決まりましたら、『広報さむかわ』、当館ホームページなどでお知らせ致します。

編集後記

『寒川文書館だより』第27号をお届けします。今号は令和元年度の後半に実施した事業を中心に紹介しました。今年度開催の資料保存ワークショップでは、紙資料の劣化対策や、軽易な修復を体験していただきました。紙の劣化を防ぐための処置を施すことは、資料保存機関の重要な業務のひとつです。業務内容の一部を体験してもらい、当館および資料保存への理解を深めてもらうことが目的でした。今後もこのような催しを企画していきたいと思っております。ご期待下さい。

利用案内

■開館時間

午前9時～午後5時

■休館日

月曜日（国民の祝日にあたる場合は開館）

年末年始（12月29日～1月3日）

特別整理日（決まり次第お知らせします）

※新型コロナウイルス対応のため臨時休館する場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。

■交通のご案内

JR相模線 寒川駅下車 徒歩10分

寒川町コミュニティバス・

神奈中・相鉄バス 海老名駅～寒川駅線

「図書館文書館前」下車 徒歩1分

※なるべく公共交通機関か自転車、徒歩でお越しください。



寒川文書館だより 第27号

令和2年3月31日

編集・発行／寒川文書館

〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山135-1

TEL 0467-75-3691 FAX 0467-75-3758

ホームページ <http://www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp>

電子メール bunshokan@town.samukawa.kanagawa.jp

ツイッター https://twitter.com.samu_archives